

## 消費生活アドバイザー試験 試験範囲

範囲	内容
1. 消費者問題	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 消費者問題発生の社会・経済的背景と最近の消費者問題</li> <li>② わが国及び欧米の消費者活動の歴史と現状</li> <li>③ 企業の社会的責任と消費者対応</li> <li>④ 商品テストの意義と活用方法及び消費者教育(学校・企業・行政)</li> </ul>
2. 消費者のための行政・法律知識 (1) 行政知識  (2) 法律知識	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 消費者行政の歴史</li> <li>② 国(各省庁)及び地方自治体の消費者行政の役割、内容、しくみ</li> <li>③ 国際機関による消費者保護等の動向</li> <li>① 消費者基本法及び取引・契約の適正化、安全性の確保、品質・表示・計量の適正化に関する法令の目的と内容</li> <li>② 公正・自由な競争の確保に関連する法令の目的と内容及び消費者紛争処理手続きに関する諸制度</li> <li>③ 生活環境の保全とリサイクルに関連する法令の目的と内容</li> </ul>
3. 消費者のための経済知識 (1) 経済一般知識  (2) 企業経営一般知識  (3) 生活経済  (4) 経済統計と調査方法の知識  (5) 地球環境問題・エネルギー需給	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 我が国経済の発展及び活動の特徴</li> <li>② 我が国の財政及び資本・金融市場の特徴と問題点</li> <li>③ 景気変動、物価変動の原因と種類及び対策</li> <li>④ 国際貿易、国際収支及び外国為替相場のしくみ</li> <li>⑤ 需要と供給のしくみ、産業構造の変化、市場経済のメカニズム</li> <li>① 企業の役割、経営原理、経営改革及びコミュニケーション</li> <li>② 経営分析の手法及び企業経営の課題と対応</li> <li>③ 市場の変化とマーケティング活動及び消費者行動</li> <li>① 家族形態の多様化や国民経済と家計の関係</li> <li>② 家計の収支構造の変化と資金計画</li> <li>③ 今後の社会構造の変化と生活設計のあり方</li> <li>④ 家計に関する税と社会保障費の負担</li> <li>① 調査及び調査結果分析の方法</li> <li>② 経済統計の考え方と特性、種類</li> <li>③ 主たる経済統計の概要</li> <li>④ 経済統計と景気の見方及び国民経済計算のしくみ</li> <li>① エネルギー利用の歴史とエネルギー需給の現状</li> <li>② 廃棄物処理とリサイクル問題、化学物質の環境問題</li> <li>③ 地球温暖化問題への対応と省エネルギーの現状と対策</li> </ul>
4. 生活基礎知識 (1) 医療と健康  (2) 社会保険と福祉  (3) 余暇生活  (4) 衣服と生活  (5) 食生活と健康  (6) 住生活と快適空間  (7) 商品・サービスの品質と安全性  (8) 広告と表示  (9) 暮らしと情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 医療制度の変遷と現状及び問題点</li> <li>② 医薬品の安全確保のための法的しくみ</li> <li>① 社会保障制度の現状と課題</li> <li>② 社会保険の現状と課題</li> <li>③ 社会福祉制度の発展過程と制度の概要及び公的扶助制度</li> <li>④ 介護保険制度の目的としくみ</li> <li>① 日本人の余暇環境</li> <li>② 高齢者を含めた余暇活動への参加動向と地域社会との関係強化</li> <li>③ 余暇産業の変化と新たな余暇活動への動き等</li> <li>① 衣料品の材質、品質、性能、管理方法</li> <li>② 衣料品の生産・流通及び表示</li> <li>③ 衣料品の資源・環境問題</li> <li>① 栄養素・食品成分の概要と健康との関係</li> <li>② 食品需給と輸入食品及び食生活の変化</li> <li>③ 食品の衛生・安全性と表示問題</li> <li>① 住宅の計画・取得・管理方法のあり方</li> <li>② 住宅の構造とその特徴及び建築材料の種類と性質</li> <li>③ 室内環境と住宅設備及び今後の住宅のあり方</li> <li>① 商品・サービスの特質</li> <li>② 主要商品・サービスの品質と安全性</li> <li>③ 製造物責任と被害者救済制度</li> <li>① 広告の役割とあり方</li> <li>② 広告規制と監視の枠組み</li> <li>③ 表示の役割とあり方及びその法的しくみ</li> <li>① 暮らしにおける電子情報化</li> <li>② 電子情報社会を支える技術、ルール及びセキュリティ対策等</li> <li>③ 暮らしにおける電子情報化の今後の展開と問題点</li> </ul>